



代っ子通信

令和6年7月9日

<第19号>

校長 平塚智康

情報を正しく理解する力を身につける

7月4日（木）、6年生を対象に、北陸朝日放送による情報リテラシー教育出前講座が行われました。北陸朝日放送報道制作局の吉中主任と立命館大学白戸教授が講師を務め、子どもたちは「情報を正しく理解する力を身につけるには？」というテーマで学習を行いました。



<情報を見抜く力を養うには？>



<授業で学んだことの発表>

6の1 〇〇 〇〇

情報モラルの学習で、たった十数人の伝言ゲームでもぜんぜんちがう意味になっていたりして、6列あったのに全部ちがったからすごいなと思いました。まちがった情報を正しい情報だと思ってしまったら、とりかえしのつかないぐらい大変なことになってしまうかもしれないから、今回学んだことを生かして、まちがった情報と正しい情報をくべつできるようがんばります。

6の1 〇〇 〇〇

自分はまだスマホをつかっていないけど、つかってなくても人の口からでた言葉がどんどん正確さをうしなっていくことにおどろいた。スマホは知らない人にも情報がいくからこわいなと思った。だから、自分ではしんするときは、意見と事実を分けて話す、情報が正しいか調べてみる、をくり返していきたいなと思った。

6の2 〇〇 〇〇

今日、情報の見分け方の勉強をして、自分でたしかめしないで、思いこみで人に広めると、本当じゃないのに、みんなが信じて困る人が出てくるのが分かりました。これからは、その情報が本当なのか、うそなのかを自分でたしかめてから、みんなに伝えるようにしたいです。

6の2 〇〇 〇〇

今日の授業で、デマを見分ける方法が分かった。伝言ゲームをして、1次情報、2次情報と、くり返していくと、ほんとうに最初の情報がまちがって、ちがうことを広めていくことになるということが分かった。大人になって役立つことを知ったので、きょうな体験ができて良かったし、楽しかった。

6の3 〇〇 〇〇

情報モラルの勉強をして、うその情報が本当の情報か、見分けることはむずかしいけど、親に聞いて確かめたり、本当か分からないものには関わらなければ良いと思いました。伝言ゲームをしたときも、全部のグループが情報をまちがえていたので、こわいと思いました。少しでもちがう情報を教えてしまうと、どんどんちがう情報になってしまうことが分かったので、情報はしっかり確かめてからだれかに伝えるようにします。

6の3 〇〇 〇〇

情報の学習をして、今はスマートフォンをあたり前に使う時代だから、自分の持っているスマートフォンで、世界に誤った情報とか、うその情報を流さないことが大切だと思った。また、自分のスマホに誤った情報が来たとき、その情報が正しいのかどうか、情報ソースという言葉を教えてもらったけど、その情報のもとを探して、正しいのか正しくないのかを見分けることが大切だなと思いました。

- ㊦ 情報化社会はどんどん加速しており、私たちの身の周りには、様々な情報があふれています。正しい情報なのか、はたまたまデマ情報なのか、情報を見抜く力が、今後ますます重要になってきます。子どもたちには、情報と上手につきあう力を養って、「わたしも みんなも 幸せになる社会をつくる人」になってほしいと思います。

授業の様子（ニュース映像）は、北陸朝日放送の公式YouTubeチャンネル
(https://www.youtube.com/channel/Uct6LB-BvEmDm-oWbe_TO7mw)
でご覧になれます。

全校縦割り活動 ～異学年交流活動～

山代小学校には、「全校縦割り活動」という異学年交流活動があります。1～6年生の各学年数人ずつが集まって縦割り班を作り、班ごとに楽しいレクリエーションをして、学年を超えて交流を深めます。縦割り活動の中心はもちろん6年生です。どんなレクリエーションを行うか活動の計画を立てたり、運営や司会進行をしたりします。7月3日は今年度2回目の縦割り活動がありました。どの班も仲良く楽しく活動を行い、子どもたちの幸せそうな笑顔が見られました。縦割り活動を通して、6年生にはリーダー性やホスピタリティマインドを育成するとともに、学校全体に、明るく仲良く温かい学校風土を醸成していきたいと思います。わたしも、みんなも、幸せになる学校をつくる人になろう！



〈ばくだんゲームで盛り上がる班〉



〈定番のフルーツバスケット〉